



稲吉 郭 哲
自由クラブ

カーボンニュートラルの
推進について

問 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた市の率先行動は、

答 新たにカーボンニュートラル推進事業費を計上し、公共施設でのLED化や太陽光発電設備の設置等の新エネルギーの導入促進に向けて着手している。

問 市民や事業者との連携について伺う。

答 市民、事業者、市の三者で共通認識を持ち、協力・連携体制を強くしていくことが必要。また、事業者が有する技術革新の活用等、連携の形を研究したい。

問 今後の市の姿勢を伺う。

答 国の補助事業を活用しながら取り組んでいく必要があり、まずは国のロードマップや制度に沿って現在の計

画を見直していく必要がある。紹介のあった飯田市等の先進事例を参考にし、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けての推進力となるよう取り組みたい。

形原町の西部防災センターについて

問 解体工事の見通しについて伺う。

答 令和4年2月末に地上部分の撤去が完了予定。5年度に基礎部分の撤去工事を実施する見込み。

問 跡地の利用方法について伺う。

答 現段階で計画はない。地元の意見等を聞きながら検討していく必要がある。



解体前の西部防災センター

産業振興基本条例を制定

12月市議会定例会は、11月30日から12月15日までの16日間の会期で開き、議案17件、請願1件を審議しました。

産業振興基本条例の制定など、主な内容をお知らせします。

12月定例会

議案

条例の制定・改正

● 産業振興基本条例の制定
(第78号議案)

産業振興に関する基本的な事項を定め、事業者、産業経済団体、教育機関等、市民及び市の役割を明らかにすることにより、一体的に産業基盤の安定及び強化を促進し、もって地域経済の持続可能な発展及び市民生活の向上に寄与することを目的として制定します。

● 経済委員会での主な質疑
問 制定の経緯を伺う。
答 蒲郡市産業振興協議会が平成27年3月に設立され、以降21回の会議が開催されてきました。官民一体となって条例制定に向けた意見集約がされたことを受け、制定に至ったものです。

問 新たに設置される産業振興会議の構成員はどのようなか。
答 既に設置されている産業振興協議会に参画されている方を基本として、今後、規則で定めていきます。産業振興に関わる大学の先生方にも加わってもらう考えを持っていきます。

12月定例会の日程

- 【11月】
- 30日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕
- 【12月】
- 3日 本会議〔一般質問〕
議会運営委員会理事会
議会運営委員会
- 6日 本会議〔一般質問〕
- 7日 本会議〔一般質問、議案説明など〕
議会だより編集委員会
- 8日 総務委員会
- 9日 経済委員会
- 10日 文教委員会
- 14日 議会運営委員会理事会
議会運営委員会
- 15日 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕